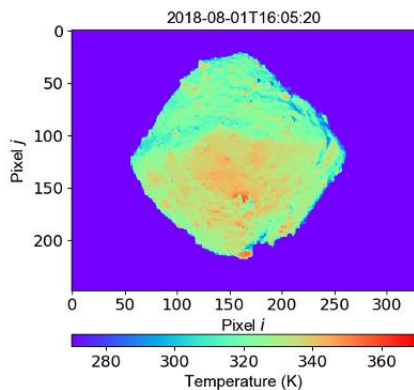


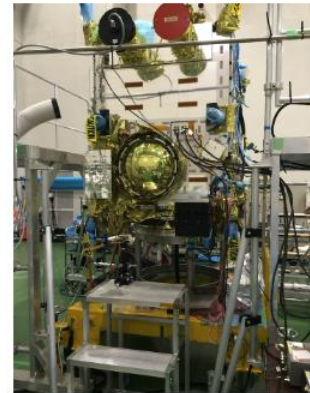
准教授 荒井 武彦 / リモートセンシング研究室

主な研究内容と目指す将来像

リモートセンシング装置を開発し、人工衛星や探査機に搭載して、ターゲット天体を観測します。そのデータの解析を行って、科学成果を挙げます。近年では、小惑星探査機はやぶさ2に搭載した中間赤外カメラTIRを開発したり、二重小惑星探査計画のHera探査機に搭載する中間分光赤外カメラTIRIを開発したりしています。遠隔からの観測を行うリモートセンシング手法によって、太陽系惑星の組成や物理状態を明らかにし、地球や生命の起源を明らかにします。



はやぶさ2搭載TIRでリモート観測した
小惑星リュウグウの中間赤外画像



はやぶさ2地上試験の様子

研究キーワード

リモートセンシング/地球惑星科学/惑星探査/センサ開発/ローバ開発

研究の魅力・面白さ

- ✓ 人類未踏の世界を初めて垣間見ることができます。
- ✓ 宇宙を探査することによって、生命の誕生の秘密に迫ります。

履修しておきたい推奨科目

特になし

研究室配属希望者へのメッセージ

大学には、様々な装置が揃っていて、自由に面白い研究・発明ができます。3年生から研究活動が本格的になりますが、今から頭と体を鍛えて、それに備えましょう。

連絡先

araitakehiko@maebashi-it.ac.jp